

## 研究実践の報告

### 1. 研究テーマ

本校は、「社会と関わりながら自分で考え、主体的に責任を持って社会を変えていくことができる、グローバルリーダーの育成」を研究テーマに、地元企業やNPO、大学や小中学校、地域住民、海外連携校とコンソーシアムをつくり、世界(グローバル)と地域(ローカル)を合わせたグローバルな視点で、課題解決型学習のモデル開発に関する研究に取り組んでいる。

金融教育の視点としては、特に、地元企業や商店街と連携した商品開発や地元製品のPR、行政への町づくりの提案などを通して、金融の仕組みを学び、それらの経験を通してアントレプレナーシップ(起業家精神)を醸成し、将来、地元をはじめ国内外で活躍できる人材育成を目指してきた。

### 2. 校内組織体制

地域との協働による探究的な学びを実現するためのカリキュラムマネジメントを推進する目的から、教員を8つのチームに編成し各責任者の下で研究を進めている。

<校内組織図>(全職員がいずれか(または複数)のユニットに所属している)

各ユニット名称	事業内容
事務局	各ユニットの総括、各事業の運営
M-PROJECT	①1年 ②2年 ③3年
地域協働	①丸岡城サミット ②丸高カレッジ ③地域活性化派遣プロジェクト
海外協働	①タイ国との交流 ②台湾との交流 ③フィリピンとの交流 ④県内留学生との交流
学校設定科目	①カリキュラム ②探究活動を取り入れた授業研究(JKB) ③グローバルスタディ英語 ④グローバルスタディ社会
発信	①中学校への魅力発信(丸高グローバル通信) ②出前講座 ③丸高ホームページ管理 ④研究報告書・編集 ⑤成果発表
検証・評価	グローバル運営指導委員会
事務	会計
部活動	地域協働・海外協働活動
その他	先進視察

### 3. 重点項目

重点項目を以下のとおり設定した。

- ① 教育活動全般を通じた探究的な学び
- ② 情報発信と継続的な協働関係の構築
- ③ 生徒の資質能力の向上と学校の魅力化
- ④ 学びを活かした進路実現へ

#### 4. 具体的な取り組み例

##### (1) 第2学年の実践について

2年生は1年生時に「未来に残したい丸岡の宝」ということを年間テーマに、地元の商品をPRしたり、地元企業とタイアップして商品開発をしたりするという活動を行った。その際、『地域にアクセスする力』、『企業の魅力や強みを取材しPRする』ことに傾注しすぎて、そこから問題意識を共有したり、自ら課題を設定して自分事として考え実行したりする力を十分に伸ばせなかったという課題があった。

これを受け、2年生においては、グローバルな視点で地域や世界の課題を「掘り下げて解決策を探究していく」という、一步進んだ課題を設定することとした。また、3年生になった時に生徒の進路実現につなげたい、単なる提案で活動を終えるのではなく、企業等との協働で発信(行動)したいという考えもあった。

そこで、2年生での主な活動を昨年度の2年生の活動を参考にしながら、金融教育プログラム「学校における金融教育の年齢層別目標」Dキャリア教育に関する分野を踏まえ、目標を以下の通り設定した。

##### (ア) SDGsについての理解を深めること

##### (イ) SDGsの視点を持ち、坂井地区(坂井市・あわら市)の企業と地域活性化のために活動すること

これらを通して、生徒に身につけさせたい力は、以下の4点がある。

- (主体性) SDGsについて正しく理解し、粘り強く課題に取り組む行動力
- (探求性) SDGsの観点で地域の課題を発見し多面的に考察する力
- (協働性) 他者と協働し成果を発信する表現力
- (社会性) 地域の一員として持続可能な社会づくりに貢献しようとする意識

##### (2) 2年生の主な実施内容と活動の様子

自分たちが考える坂井地区の課題とその解決策、および解決のために協働を依頼したい企業・団体の魅力等について講座ごとに発表を行った。発表会では、福井県金融広報委員会の方をはじめ、多くの企業や地元の方に来場いただき、発表の評価などをしていただいた。その中で、来場者からは「どのグループも着眼点はよい」、「地域に対する問題意識の持ち方が多様である」といった意見が聞かれた一方で、「多くの人の意見を聞くことで、課題がもっと真に迫るものであるとよい」、「解決策について、更に具体性を持たせてほしい」といった意見もあった。

##### (生徒発表テーマ一覧)

1組			2組		
班	発表内容	共同予定企業等	班	発表内容	共同予定企業等
1	若者向けのまちづくり	坂井市役所、地元企業	1	広めよう地元の魅力	鉄道会社、地元企業
2	赤ちゃんがはいはいできる きれいな町に	坂井市役所、清掃関連会社	2	福井県の魅力発見ツアー	地元企業、旅行会社
3	子供あふれさず計画	地元幼稚園・保育所、坂井市役所	3	すべてに優しい街	NPO法人
4	地元活性化で人を呼び込もう	坂井市役所、地元商店街	4	坂井市輝きフェスティバル	坂井市役所
5	人と自然があふれる街へ	建築関連会社、坂井市役所	5	Let's improve the transportation of Maruoka	鉄道会社

6	カーシェアリングシステム	タクシー会社、バス会社	6	丸岡城でお祭りを開催(イベント)	地元企業、坂井市役所
7	竹田の森を守る〜グランピング施設を作る〜	旅行会社、観光開発会社	7	ゆりを広めよう	ゆりの里公園、丸岡城

3組			4組		
班	発表内容	共同予定企業等	班	発表内容	共同予定企業等
1	坂井市に安心と安全を	市役所、消防署	1	海を守ろう	漁業協同組合
2	セーフティロード	自治体、坂井市道路整備課	2	地元の食材で地産地消	飲食店、地元農家
3	高齢者の寝たきりを防止するために	市役所、健康運動指導士	3	街灯増設計画	電力会社、坂井市役所、建設関連企業
4	かんぱんのあるまち	製造業、食品業、観光業	4	こども食堂	カフェ(未定)
5	ゴミのない町づくり	ゴミ収集会社、市役所	5	親のための町づくり	NPO法人
6	高齢者の孤立化防止	介護施設、建設業	6	空家Revolution	坂井市役所など公共団体
7	シニアサービス	バス会社			
8	Clean up de Point up!!	IT企業、自治会			

### (3) 成果と課題

#### < 成果 >

一番の成果としては、1年生時に課題として残されていた、「地域にアクセスした後、そこから問題意識を共有したり、自ら課題を設定して自分事として考え実行したりする力を十分に伸ばせなかった」ということが2年生時には達成できたことである。生徒の多くは坂井地区に「若者が少ない」、「観光客が少ない」、「活気がない」などの問題点を挙げていたが、その原因をたどっていくと、自分の希望進路の分野と何らかの関係があることに気づき、「自分事」として課題を解決する方法やプランを考えることができた。

#### < 課題 >

一方、指導面について課題がいくつかあげられる。講座数が多くなったため、必要な教員数が増えたにもかかわらず、活動が標準化されておらず、関係する教員間で意思疎通・認識統合が円滑に進まない苦労もあった。こうしたことを踏まえ、今後はある程度活動の「計画・実施・評価」をマニュアル化・システム化する必要があると感じた。

また、この活動は本来生徒の主体的な活動であるにもかかわらず、「やらされている感」を持つ生徒が一部で見受けられた。活動の冒頭で生徒に活動の目的をしっかりと認識させるよう教員が働きかける必要があった。

このほか、地域協働学習にあたり、地域の方々に協働パートナーとして生徒の支援を依頼する際、教員が地域の関係者にそもそも協働パートナーとは何か、位置づけは何か、といったことをしっかり説明したうえで依頼する必要があった。

### (4) 生徒の反応(変容)について

令和3年度9月に実施した外部機関の評価ツールを活用したアンケート調査によると、「自分とは異なる意見や価値を尊重することができる」と回答した生徒は94.1%に達し、他の人と協働することによって得られた多様な価値観や多様性に対する受容力が高まったことが分かる。

また、学習活動、学習環境、生徒の自己認識という3つのそれぞれの側面の『主体性』、『協働性』、『探究性』、『社会性』の4領域全てで、他地域と同等、またはそれ以上という結果となった。

特に『協働性』は、全ての側面で最も高い数値を示した。①「学習活動」の具体的な質問項目で

は、「地域の課題の解決方法について考える」が上昇し、特に3年生は「日本や世界の課題の解決方法について考える」の項目が前年度より12.6%ポイント上昇し83.2%に達した。地域から日本、そして世界へと視野が広がったことは、社会の事象を自分と関わりある事柄として認識し理解しようとする姿勢の表れであると考えられる。②「学習環境」の具体的な質問項目では、「地域から大切にされている雰囲気を感じる」が88.1%、「興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる」が86.6%と高い数値を示した。地域の協働パートナーと連携した3年生はそれぞれ93.3%、94.1%という極めて高い数値であった。また、③「生徒の自己認識」の『探究性』の領域が、前回から最も上昇率が大きかった。

以上の結果から、通常の学校活動だけではなく、金融教育研究校としての取り組みが、生徒の視野を広げるとともに、地域との関わりを再認識し、今後、社会に出ていく際の自信につながり得るようなきっかけを得たようにも思われ、生きる力を醸成する金融教育ならではの効果が一定程度あげられたものと考えている。

以上